

平成30年度 大阪府立大手前高等学校  
第3回学校運営協議会（全日制部会）

平成31年2月14日(木)  
14:00～16:00  
府立大手前高等学校校長室

1. 開会・校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 委員・出席者紹介
4. 校長説明及び協議
  1. 生徒状況・行事等の報告(11月～)
  2. 平成30年度学校教育自己診断結果
  3. 平成30年度学校経営計画進捗状況
  4. 平成31年度学校経営計画（全日制・定時制）（承認事項）
5. 自治会役員生徒との意見交換
6. 閉会

いただいたご意見

< 生徒状況・行事等の報告(11月～) >

遅刻件数が増加し続けているが、なかには遅刻を悪いことと思っていない生徒がいるかもしれない。また、周りの生徒も遅刻しているから、と横並びに生徒たちが遅刻をしている可能性もある。そういったことを前提としたうえで、きちんと指導を行っていく必要がある。

< 平成30年度学校教育自己診断結果 >

毎年度生徒たちの顔ぶれが変わっていくので、単年度での学校の実施状況を評価していくのではなく、より長期的な目線で考えていくべきではないか。

生徒アンケート、保護者アンケートの両方で、いじめに関する項目の無回答が多いことが気になる。本校においていじめがないのと考えているために無回答であるか、選択項目に適切なものがないために無回答であるのか判断しかねる。「わからない」という選択項目があれば、結果が変わるかもしれない。

GLHSなどの取り組みは、受験の成果と結びつくのかどうか。大学側の課題でもあるが、課題研究に向かないような生徒たちを含めて全員に課題研究を課している現状がある。AO入試などに向けた課題研究になっている可能性がある。

65分授業のなかで、教員たちは計画的に授業を実施しているのかどうか。従来型の授業をただ65分行うのではなく、導入、展開、まとめといった展開を意識する必要がある。

家庭学習の定着が課題としてあるが、定着させるためには、生徒たちの家庭学習と本校での授業内

容がバランスのとれたものである必要がある。家庭学習を踏まえたうえでの発展的な内容を授業で行っていくことが、家庭学習の定着につながるだろう。

< 自治会役員生徒との意見交換 >

教員たちからの提案にしたがっていくのではなく、大手前高校の文化・伝統を考え、考えたうえでの提案を自治会からしていくことが大切である。

自治会役員生徒たちの入学以前の大手前高校に対する印象が「おとなしい学校」とあったが、それはマナーがよい生徒たちが多くことに起因するのではないだろうか。それが大手前高校の魅力なので大事にしてほしい。

配付資料

平成30年度学校教育自己診断結果

平成30年度学校経営計画

平成31年度学校経営計画（全日制・定時制）